

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	①	理念を、介護部門の全体的な理念をそのまま使用しているが、グループホームの独自の理念は無い。	グループホームの意義を踏まえた、認知症対応の施設として事業所独自の理念を作成する。	運営開始から2年が経ち、認知症を持った利用者の生活と、グループホームの意義を踏まえた理念を、職員全体で話し合い、今年度中に十分討議し作成したい。	12ヶ月
2	②	利用者の余暇活動や日常生活がより良く楽しんで頂ける時間が取れない。外出や買い物、地域行事への参加等職員人数が足りず取れない。	事前の計画を立てて職員人員を確保し少しでも利用者楽しんで頂ける時間を作って行きたい。	人員の厳しい状態ではあるが、早急の人員確保に努めたい。その上で計画的に行事等を開催できる日を設け対応していきたい。	1～6ヶ月
3	⑥	利用者家族とのかかわり合いは、報告連絡相談などを実施しているが、利用者や家族、職員との全体的な交流や催し物の機会は少ない。	利用者、家族、職員の全体的な交流やかかわり合う機会を増やしていきたい。	施設から家族へのお便りの定期的な発行や、行事の開催などを早目にお知らせする為の工夫やポスター掲示など。また施設運営を踏まえ家族会の検討。	1～6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。